

小学校 低 学年＜ 2 - (4) ＞

学 年	2年	時 間	学級活動 「防災ダック～はい、ポーズ～」	時 期	5月,9月または 避難訓練前等の適時	時 数	25分～45分
目 標	防災訓練の大切さと「防災ダック」ゲームを知り、ゲームを通して楽しみながら自分の体を守る動作をすることができる。						
資料・準備	「防災ダック」のカード8枚（地震、津波、火事、台風、雷、誘拐、知っている人、悪いこと） （防災ダックのカードは販売されています。一般社団法人「日本損害保険協会」。また、県でも所有し、貸し出しています。）、音楽CD、CDプレーヤー、またはタンブリン等						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 () があったことを知る。 ◇ () のことを聞いたことがありますか。 ・知らなかった。 ・聞いた事がある。	○具体的な災害事例を挙げ導入とする。 (例) 鳥取県西部地震、鳥取大火、鳥取地震 東日本大震災 等 ○体験談を聞かせてもよいが、極端に恐怖心を抱かせるような内容は避けた方がよい。
展 開	2 防災訓練の大切さを確かめ、「防災ダック」というゲームをすることを知る。 ◇いつ起こるか分からない災害なので、防災訓練がとても大切です。災害から自分を守る動作をゲームで学びましょう。 ・楽しそうだな。 3 「防災ダック」のカードの意味と、とるべき動作や声の出し方を知り、カードを見ながらポーズの練習をする。 ◇「防災ダック」のそれぞれの場面（知っている人、悪いこと、地震、津波、火事、台風、雷、誘拐）でとる動作をみんなでやってみましょう。 ・地震のときは、頭を守るのが大事だね。 ・一つずつ意味があるんだね。 4 ゲームのやり方を知り、ゲームを通して体の守り方を学ぶ。 ◇「防災ダック」のゲームのやり方を知って、みんなでやってみましょう。 ・さあ、やってみよう。 ・おもしろそうだなあ。 ・なかなかすぐに動作が浮かばなくてむずかしいな。	○これまでに行った避難訓練の大切さを改めて押さえた上で、「防災ダック」を紹介する。 ○はじめに、身近な生活場面でのマナーに関する場面（知っている人、悪いこと）を扱い、元気よく声を出して活動できるようにする。 ○危険が描かれているカードを示し、説明しながら必要なポーズを一緒にとっていく。 ☆意味を理解し、各ポーズができたか。 ○ゲームのやり方は、資料を参照 ○音楽をかけ、曲を止めたところでカードを見せたりタンブリンで合図をしたりして、楽しく取り組ませるようにする。 ○1回目は迷った人には教える。2回目以降は、素早いポーズがとれたり大きな声が出せたりした人を誉め、意欲的に取り組めるようにする。 ☆楽しみながらゲームに取り組んでいるか。 ☆各ポーズを正しくとることができたか。
ま と め	5 学習の感想を発表する。 ◇今日の学習はどうでしたか。感想を発表しましょう。 ・たのしかったな。また、やりたいな。 ・まねするのが、むずかしかったな。 ・もっとたくさんおぼえたいな。 6 教師のまとめの話を聞く。	○楽しみながらやっているうちに、安心・安全への意識が高まったことをおさえる。 ○いろいろなやり方で身を守る方法を学んでいくことの大切さについて話す。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	(学級活動) 避難訓練の前の学習 (学校行事) 避難訓練
協 力 団 体	鳥取県消防防災課